

鶴峯八幡の神楽



鶴峯八幡宮十二座神楽保存会(市原市)

九十九里大漁節



九十九里大漁節保存会(九十九里町)

アコースティックギターと箏のコラボレーション



仲内拓磨&沖政一志

仁組獅子舞



仁組獅子舞保存会(匝瑳市)

和太鼓



のさか太鼓(匝瑳市)

★開場中、獅子舞体験ができます!(申込不要)

魅力発見! ちばの郷土芸能 フェスティバル

令和6年度「ちば」の文化芸術発信事業

日時

令和7年

2月15日(土)

13時30分開演/12時30分開場

会場

千葉県東総文化会館
大ホール

料金

要事前申込・入場無料

申込方法

申込締切:2月7日(金) 消印有効

- ・座席は全席自由席です。・申込者多数の場合は抽選となります。
- ・抽選結果は、2月10日(月)以降にお知らせします。
- ・未就学児もご入場いただけます。

①専用申込フォームからの申込み

<https://www.cbs.or.jp/toso/2025-02-15>



②往復はがきによる申込み

2608661 (住所省略可) 千葉県文化振興財団 「ちばの郷土芸能 フェスティバル」係	代表者の ①〒 郵便番号 ②ご住所 ③氏名 ④電話番号 ⑤入場希望人数 (1通につき4人まで) ⑥車椅子席の希望 の有無	〒 郵便番号 申し込む方の 住所・氏名	返信用はがきの 裏面は 何も記入しない でください。
往信用はがき	返信用はがき	表	裏

【主催】千葉県

【企画運営・お問合せ】



公益財団法人
千葉県文化振興財団
043-222-0077



鶴峯八幡宮十二座神楽保存会

鶴峯八幡宮は、鎌倉時代の建治三年(1277年)に豊前(現在の大大分県)の宇佐八幡宮から勧請したと伝えられており、関東地方においては、鎌倉の鶴岡八幡宮、館山の鶴谷八幡宮と共に関東の三鶴と称されてきました。

この神社に伝わる十二座の里神楽は、鎌倉の八幡宮より伝えられたとされ、この神楽に使われるお囃子を別名「鎌倉ばやし」と呼ばれています。神楽は、昭和39年4月28日千葉県無形民俗文化財に指定され、鶴峯八幡宮十二座神楽保存会により伝承されています。

神楽の伝承者は舞方と拍子方に分かれており、舞方は曲目によって構成が異なるが、拍子方は長胴太鼓1人、鼓1人、鉦1人、笛5名から6名と決まった編成です。神楽の演目は「猿田彦の舞」「副巫女の舞」「稲荷様の舞(種蒔き)」「月日の巫女舞」「恵比寿様の舞」「三韓の舞」「八幡様の舞(宝珠とり)」「老人の舞」「浦島の舞」「湯立の舞(戸隠)」「太刀の巫女の舞」「山の神の舞」の12演目からなります。

なかでも「八幡様の舞」では、登場する鬼が、屋根から現れたり、観客に抱きついたり、子供を脅かしたり、と大暴れます。退治された後も開放してくれた医者どんと相撲をとったりするなど寸劇風の大変楽しい演目です。



仁組獅子舞保存会

市南部に位置する栢田(かやだ)地区に伝承される仁組獅子舞は、江戸時代の天明年間頃、全国的な大飢きん饑にみまわれた際に、上総国作田村(現在の九十九里町)の住人が、五穀豊穡と疫病退散を祈願して獅子舞を奉納し、これが後に栢田村に伝わったのがはじまりといわれています。なお、仁組とは、伝承地である栢田地区の各集落を「い組、ろ組、は組、に組」に分けたものの名残といわれています。

以前は毎年1月28日の石尊講と呼ばれるお祭りで行われていたが、平成後期からは毎年1月第二日曜日の新年初の寄合である初茶飯の日におこなわれています。

獅子舞の演目には、各家を回る際に舞う「狂くい獅子」や、「平ひらじし獅子」、「四ツ足」、「梯はしごじし獅子」、「鳥とりさし刺」、「和わとうない唐内」、「新和唐内」、「釣り玉」等があります。

また、道中の囃子としては、伊勢参り・馬ばかばやし鹿囃子・羯かっこばやし鼓囃子・ちょんき節等の曲があり、あんば囃子や俗謡をとり入れ、独特の郷土色豊かな楽曲となっています。



九十九里大漁節保存会

九十九里大漁節保存会は、現在会員18名で毎週水曜日の夜、九十九里町立中央公民館で練習しています。

3年に1度開催される九十九里町郷土芸能まつりや各種イベントへの出演、子どもたちへの指導を行いながら、九十九里大漁節の継承のため、がんばっています。

〈九十九里大漁節〉

大漁節は今から180年ほど前、江戸時代、天保年間より唄い継がれている漁師達の労働歌です。

大漁節の一節に「いつ来て見てもこの浦は、粕(かす)や干(ほし)鰯(か)でせきがない。」と唄われておりますが、その当時は、鰯が最も多く獲れた時期であり、浜は干鰯(ほしか)で足の踏み場もない程いっぱいになっていたという様子を唄っています。

地曳網を曳きながら大漁節を歌い、老若男女が繰出でいわし漁をしている勇壮活発な海の生活を活き活きと唄いこんでいます。

この踊りは、昭和38年、県の無形民俗文化財に指定されています。



のさか太鼓

のさか太鼓は、地域のコミュニティ祭りとして平成4年に発足しました。地域に伝わる伝統的なお神輿を先導するお囃子と下座ばやしがあり、中でも篠笛のやさしさと太鼓の激しさの融和の中で私たちは、育てきました。地域での活動を主に、地域内外での演奏活動を通じて様々な人と出会い、のさか太鼓の音を届けてきました。地域交流事業として福祉施設慰問、のさかふれあい祭り、野栄文化祭、市内イベントに参加しています。

また、不定期ですが本来の目的とする自主公演の開催も目指しています。曲作りは、郷土に伝わるお囃子の継承の他、ピアノと篠笛、太鼓の融合した曲や和太鼓を通じてジャンルを超えた新たな音作りにも挑戦しています。毎週、火曜日、木曜日の2回、地域の施設を利用しています。今回は、参加メンバー10名でお囃子をメインに演奏させていただきます。



仲内拓磨

千葉県旭市出身のアコースティックギタリスト。スタンダードナンバーや童謡などあらゆるジャンル、色彩豊かなオリジナル曲をギター1本で繊細かつダイナミックに表現しています。透明感のある音を操る演奏力のみならず、親近感のあるMCも好評。地元、千葉県東総文化会館でのワンマンコンサートでは、初主催で300人収容のホールを大盛況に収めています。

2022年よりSKY WAVE FMにて、ラジオ番組、「仲内拓磨のアコギCafe」と、「Tomo_Yoと仲内拓磨のせせらぎNightミュージック」の番組のMCを担当しています。近年では、鳥羽一郎や山川豊と共演、MADKID等のサポートも務めています。YouTubeでの活動もしつつ、生のライブ空間を大切にし、都内を拠点にcafeやbar、ホテルのラウンジなどで定期的に活動しています。



沖政一志

佐倉市出身、市川市在住。上智大学文学部史学科卒業。アーティストやTV番組、CM、ゲーム等のライブ出演やレコーディング、邦楽監修、演奏指導等、多岐にわたる活動をしています。

youtubeのチャンネル登録者は一万人を超えています。また、全音楽譜出版社より多数の編曲楽譜を出版しています。ヤマノミュージックサロン池袋、箏／文化箏講師。ゲーム音楽を和楽器で演奏する集団『ファミ箏』代表。

「ちば」の文化芸術発信事業

伝統文化等の保存・継承に取り組むとともに、文化芸術を通じた自己表現や文化芸術活動の活性化につなげるため、本県の魅力的な文化芸術を感じていただける舞台公演を開催しています。

会場では令和7年度にリニューアルオープンを迎える千葉県文化会館に関する特別展示も同時開催!

千葉県東総文化会館

〒289-2521 千葉県旭市ハの666番地
Tel.0479-64-2001 Fax.0479-64-2004

交通案内



■JR総武本線

旭駅よりタクシーで5分 徒歩約15分



■千葉東金道路経由

京葉道路から千葉東金道路・圏央道 銚子連絡道路を経由し、横芝光ICから国道126号銚子方面(約30分)、袋西交差点右折

■東関東自動車道

東関東自動車道・大栄ICから約40分

